※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０１

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「言語文化」（数研出版）						
副教材等	三訂版「わかる・読める・解ける key&point 古文単語 330」（いいずな書店） 九訂版「読解を大切にする 体系古典文法」（数研出版） 三訂版「読解を大切にする 体系古典文法 学習ノート」（数研出版） 「必携 新明説漢文～句法と語彙を一緒に学ぶ～」（尚文出版） 新訂版「正しく読み・解くための 力をつける古典 ステップ１」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．授業に取り組む姿勢をしっかり身に付けよう。
　・授業中に質問や発言をするなど積極的に参加する。　・宿題等の提出期限を守る。
２．自宅学習の習慣をしっかり身に付けよう。
　・予習復習をする。　・疑問に思った点などを整理し、授業に生かす。
３．古典の基礎力をしっかり身に付けよう。
　・語彙、古典文法、漢文句法などの知識を身に付ける。　・古典の文章の読解力を身に付ける。

２　学習の到達目標

多彩な言語活動を通して、言葉による見方・考え方の幅を広げ、国語で的確に理解し効果的に表現する豊かな資質・高度な能力を次の通り育成することをめざす。
１．我が国の言語文化に対する理解を深めることを通し、生涯にわたる社会生活を豊かなものにする国語の多様な知識や技能を身に付けるとともに、積極的に表現する姿勢を涵養する。
２．他者との関わりの中で、自己の思いや考えを整理・深化させ、他者の考えに深く共感したり、伝え合う能力を高めるとともに、論理的に考える力や豊かに想像したりする力を伸長させる。
３．言葉を通して他者や社会に関わる意識を確立することで、言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、読書に親しむなか、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を新たにする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	言葉の特徴やきまり、古典文法・漢文句法・古文常識・文学史・語彙など伝統的な言語文化に親しむための知識の習得に努める。その上で、身に付けた知識・技能を用いて、古典の文章や小説を積極的に解釈し、我が国の言語文化に対する理解を深める。	伝統的な言語文化を題材とし、「書くこと」「読むこと」の各領域において、与えられた文章を論理的にまとめ、目的、意図に応じて的確な文章で表現している。また、複数のテキストなどから正確に内容を読み取り、自分の考えを深め、発展させている。また、得られた知識や意見を総合的に考えた上で、自分の意見にまとめ、目的や場に合わせて効果的に表現できている。	国語で表現されたものを深く理解しようと努めるとともに、伝統的な言語文化などに対して関心を持ち、国語全般への探究心を持っている。また、思いや考えを深めたり、積極的に他者と関わったりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとするとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に用いようと努めている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古文の知識を身に付ける① ［教材］副教材 「体系古典文法」 「体系古典文法　学習ノート」	a：歴史的仮名遣い・動詞・形容詞の活用を理解している。 b[読]古典文法の知識をもとに、短い文を分節にわけて説明できる。 c：文法書・単語帳を積極的に活用して知識を身に付けようとしている。	課題考査 定期考査	課題考査 定期考査	課題 提出物
	古文を現代語に訳す① ［教材］教科書 宇治拾遺物語 「児のそら寝」 「柿の木に仏現ずること」	a：文語と口語の違い、活用の概念、係り結びについて理解している。 b[読]：古典文法・古文単語の意味を踏まえ、物語の内容を的確に説明できる。 c：文法書、単語帳を積極的に活用し、的確に現代語訳しようとしている。	定期考査	定期考査	課題 提出物
	漢文の知識を身に付ける① ［教材］副教材 「新明説漢文」	a：訓点・書き下し文のきまりを理解している。また、再読文字を理解している。 b[読]：漢文の構造を理解し、漢字・漢語の正しい意味・用法を理解している。 c：漢文に親しみをもち、積極的に書き下し文を作ろうとしている。	課題考査 定期考査	課題考査 定期考査	課題 提出物
	漢文の知識を身に付ける② ［教材］副教材 「新明説漢文」 「力をつける古典」(蒙求)(説苑)	a：漢文句法(否定形)の規則や訳し方を理解している。 b[読]：得た知識をもとに、短い文章を書き下し文にしたり現代語訳したりすることができる。 c：文法書を積極的に活用して、知識を身に付けようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	課題 提出物
	古文の知識を身に付ける② ［教材］副教材 「体系古典文法」 「体系古典文法　学習ノート」	a：助動詞(受身・使役・打消・過去・完了)の用法と意味を理解している。 b[読]：得た知識をもとに、短い文を現代語訳したり用法を説明したりすることができる。 c：文法書を積極的に活用して、知識を身に付けようとしている。	定期考査	定期考査	課題 提出物
	古文を現代語に訳す② ［教材］教科書 徒然草 「丹波に出雲という所あり」	a：既習の助動詞の用法・重要古文単語の意味を理解している。 b[読]：古典文法・古文単語の意味を踏まえ、物語の内容を的確に説明できる。 c：文法書・単語帳を積極的に活用し、的確に現代語訳しようとしている。	定期考査	定期考査	課題 提出物
2学期	小説作品の主題について考え、表現する。 ［教材］教科書 「羅生門」	a：登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取り、作品に込められたテーマに迫ることができる。 b[書]：課題論文を仕上げるにあたって、自分の考えが的確に伝わるよう、文章の構成・展開・語句の選び方などの表現方法を工夫することができる。 c：自己とは異なる価値観に触れ、新たな視点を理解しようとしている。	課題論文	課題論文	課題論文

※令和４年度以降入学生用

	漢文の知識を身に付ける③ [教材]副教材 「新明説漢文」	a:漢文句法(受身)の規則や訳し方を理解している。 b[読]:得た知識をもとに、短い文章を書き下し文にしたり現代語訳したりすることができる。 c:文法書を積極的に活用して、知識を身に付けようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	課題 提出物
	古文の知識を身に付ける③ [教材]副教材 「体系古典文法」 「体系古典文法 学習ノート」	a:助動詞(推量・打消推量・推定)の用法と意味を理解している。 b[読]:得た知識をもとに、短い文を現代語訳したり用法を説明したりすることができる。 c:文法書を積極的に活用して、知識を身に付けようとしている。	定期考査	定期考査	課題 提出物
	古文を現代語に訳す③ [教材]教科書・副読本 「力をつける古典」(物に争はず) 「奥山に猫またといふものありて」	a:既習の助動詞の用法・重要古文単語の意味を理解している。 b[読]:古典文法・古文単語の意味を踏まえ、物語の内容を的確に説明できる。 c:文法書・単語帳を積極的に活用し、的確に現代語訳し、古文の世界観を読み味わおうとしている。	定期考査	定期考査	課題 提出物
	漢文の知識を身に付ける④ [教材]副教材 「新明説漢文」 「力をつける古典」(世説新語)	a:漢文句法(使役)の規則や訳し方を理解している。 b[読]:得た知識をもとに、短い文章を書き下し文にしたり現代語訳したりすることができる。 c:文法書を積極的に活用して、知識を身に付けようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	課題 提出物
	古文の知識を身に付ける④ [教材]副教材 「体系古典文法」 「体系古典文法 学習ノート」	a:助動詞(希望・断定・比況)の用法と意味を理解している。 b[読]:得た知識をもとに、短い文を現代語訳したり用法を説明したりすることができる。 c:文法書を積極的に活用して、知識を身に付けようとしている。	定期考査	定期考査	課題 提出物
	古文を現代語に訳す④ [教材]教科書 土佐日記 「帰京」	a:既習の助動詞の用法・重要古文単語の意味を理解している。 b[読]:古典文法・古文単語の意味を踏まえ、物語の内容を的確に説明できる。 c:文法書・単語帳を積極的に活用し、的確に現代語訳し、古文の世界観を読み味わおうとしている。	定期考査	定期考査	課題 提出物
3学期	古文の知識を身に付ける⑤ [教材]副教材 「体系古典文法」 「体系古典文法 学習ノート」	a:敬語の種類・用法・意味を理解している。 b[読]:得た知識をもとに、短い文を現代語訳したり用法を説明したりすることができる。 c:文法書を積極的に活用して、知識を身に付けようとしている。	定期考査	定期考査	課題 提出物
	古文を現代語に訳す⑤ [教材]副教材 「力をつける古典」(盗人と僧)	a:既習の助動詞・敬語の用法・重要古文単語の意味を理解している。 b[読]:古典文法・古文単語の意味を踏まえ、登場人物同士の関係や物語の内容を的確に説明できる。 c:文法書・単語帳を積極的に活用し、的確に現代語訳し、古文のおもしろさを味わおうとしている。	定期考査	定期考査	課題 提出物

※令和４年度以降入学生用

	漢文の知識を身に付ける⑤ [教材]副教材 「新明説漢文」 「力をつける古典」(十八史略)	a:漢文句法(疑問)の規則や訳し方を理解している。 b[読]:得た知識をもとに、短い文章を書き下し文にしたり現代語訳したりすることができる。 c:文法書を積極的に活用して、知識を身に付けようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	課題 提出物

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(　　)時間

・書くこと　…　(　10　)時間

・読むこと　…　(　60　)時間